



園長 中江 祐

月見ヶ丘こどもの家の園庭中央に立つ樹齢 50 年を超えるソメイヨシノの桜の老木。昨年秋の園庭改修工事で唯一残った一本の桜です。この春先にはちゃんと花を付けてくれるか気がかりでしたが、今、見事な花を咲かせてくれてホッとしています。

この4月から月見ヶ丘こどもの家に新たに入園される新入園児・保護者の皆さん、ご入園おめでとうございます。また、在園児のみなさん、進級おめでとうございます。新しい生活が始まる4月というのは、お子さんも保護者のみなさんも期待とともに不安もいっぱいだと思いますが、職員一同頑張って保育を進めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、現在も新型コロナウイルス感染症は大変厳しい状況が続いています。オミクロン株を中心とする第6波は一体いつになれば収束するのでしょうか。近隣の児童福祉施設の休園も途絶えることなく続いていますし、決して安心できる状況とは言えない中で、新年度を迎えなければならないのはとても辛いことです。

新型コロナウイルス感染症が出現してから2年以上が経過する中、少しずつではありますが、感染症対策の事例が積み重なり、「工夫をすればできる」ことも一方でわかってきました。この月見ヶ丘こどもの家では、基本的な感染症対策(マスク・消毒・換気・ソーシャルディスタンスなど)を精力的に実施してきました。とりわけ、保育現場の特性から常時密を避けることができないため、3歳児以上の子どもたちにはマスクの着用を積極的に励行していますが、今年度も継続して取り組みたいと考えていますので、保護者の皆様方には引き続きご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

ところで、月見ヶ丘こどもの家は、京都市の認可施設としての「保育所型認定こども園」(保育部)と認可外施設としての幼稚部が併存している施設です。保護者の方の就労状況や生活状況に応じて、保育料や利用可能時間(標準時間/短時間)が決められます。そのため、就労先の変更や就労時間の変更、家族構成の変更(妊娠・出産など)はすべて京都市に届け出なければならない仕組みになっています。行政の窓口である西京区はぐくみ室とも連携を取りながら、皆様方への支援を迅速かつ適切にできればと考えておりますのでいつでも気軽に園長までご相談ください。

また、園長直通携帯(090-4290-6434)も土日祝日を問わず、いつでも対応できるようにしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。(PCR検査の受検に関しては必ずご連絡ください。)新しい職員体制の下で、利用者の皆様方に寄り添うことができるそんな園でありたいと決意を新たにいたします。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

< 行事予定 >

4/1(金) 保育はじめ 進級式 入園式	4/18(月) イースター礼拝
4/7(木) 幼稚部保育はじめ	4/20(水) 幼児組お誕生会
4/17(土) 半日保育 7:00~12:30まで クラス懇談会及び組会	4/18(月)~ 幼児組個人面談
	4/27(水) お弁当の日

○ クラス懇談会及び組会では、クラス役員の選出がありますので、ご参加ください。

欠席される場合は、担任にお伝えください。

尚、この日は家庭保育のご協力をお願いいたします。

- 幼児組個人面談は①14:00～14:30 ②14:30～15:00です。
可能な限り、面談終了後はおこさんとの降園をお願いいたします。
- 進級して初めてのお弁当の日です。新しい環境の中で、こどもたちも少し落ち着かないことも予想されますので、食べ慣れた食材でのお弁当作りをお願いいたします。

今年度の年主題は『結び合って』です。

年度末に職員で2021年度の振り返りをしました。

2021年度は『こころでつながる』という年主題を基に、神さまはいつも私たちとつながっていて下さっていて、同じようにこどもたちと私たちもつながりたい。保護者の方ともつながり合いたい。そんな思いを持って1年間保育をしてきました。

心の奥で信頼し合える関係ということは難しいものでもあったと思いますが、このつながり合いたいという願いは、2022年度も変わらず大切にしていきたいと職員みんなが同じ思いをもっていました。

そして、今年度の保育を考えた時に、神様と私たちが、そしてこどもたちや保護者の方も、もちろん職員同士もがつながりあっているところをイメージすると結び合うイメージが出てきました。私たちがこどもたち一人ひとりにつながる。保護者の方につながる。そして、親子でも職員同士もつながる。その土台には神様がいて、月見ヶ丘こどもの家が神様の愛という大きな帯に結ばれて共に歩んでいきたいと考え、2022年度の月見ヶ丘こどもの家の年主題は「結び合って」と決まりました。

こういう気持ちを大事にしながら、みんなの思い、願い、祈りをこめて互いにほどけないように結び合っていく一年になればと考えています。

また、「結び合って」にしたのは、結び合ったら終わりではなく、「結び合って」の後につながるものが出てきてほしいという思いがあり、年度末には、結び合った先にこどもたちの一年の歩みが見えるものとなればと考えています。

昨年度は、月見ヶ丘こどもの家が休園になることもあり、大変なご迷惑をおかけしました。そんな中でも、私たちの取り組みにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。感染拡大防止はこれまでと同様継続していきますが、2022年度もこどもたちにとってよりよい保育とは、ということが一番に考えていきたいと思っていますので、私たち保育者を、子育てを共にしていく仲間としていただいて、保護者の方とも結び合っていく一年になればと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

< つきみっこの様子 >

3月下旬に園全体で2022年度に向けて目に見える準備として、ロッカーのお引っ越しやテープの貼り替えをしました。大きくなるということが嬉しくて、貼り替えたロッカーをニコニコ眺めているこどもたちの姿がありました。

目に見える部分では、準備完了ですが、新年度を迎えたからといって、急激にこどもたちが成長するわけではありませんよね。そして、担任も代わるクラスもある中で、こどもたちにとっては大きな変化です。「大きくなった!」と喜んでいても、ドキドキする気持ちも持ち合わせていることだと思います。登園するのが嫌だと言い出したり、逆にはりきりすぎてしまったりする姿があるかもしれませんね。大丈夫です。それもきっと日々を重ねていくうちに変わっていくと思います。

ですので、4月は新しい環境になれるための期間として、こどもたちのペースに合わせて生活していく中で、こどもたちの心の揺れを受け止めていき、「大丈夫だよ」と、私たち大人が支えていきたいと思っています。進級したおともだちも新入園児さんも“月見ヶ丘こどもの家は安心して過ごせるところだ”と感じてもらえる4月にしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。